

小学生を対象に
CAP こどもワークショップを開催するにあたって

CAPのワークショップに関心を持っていただきありがとうございます。こどもワークショップを開催するにあたっては以下の条件を満たしている必要があります。ご確認の上、お申し込みください。

① おとなワークショップを終えていることが前提です。

こどもにワークショップを提供する場合には、事前に必ずワークショップを受けるこどもたちの保護者、先生方が“おとなワークショップ”を受けておくことが前提です。こどもワークショップの内容と、暴力防止についての正しい理解と知識をお子さんと共有するためにも“おとなワークショップ”にぜひご参加ください。

※おとなワークショップはこどもワークショップ実施と同じ年度内で、先に実施していただきます。

② ワorkshop実施に必要な時間について

小学1年生～小学2年生の前半は45分（授業の1コマ分）×2日間で実施します。小学3年生～小学6年生は90分（授業の2コマ分連続）×1日です。

③1 クラス単位でワークショップを行います。

“こどもワークショップ”は、本来20人～30人を想定して作られています。こどもたちの自由に発言する場、安心して発言する場を保証するために、1クラス単位で実施しています。こどもたちはワークショップに“参加”することで、多くのことを学びます。また、クラス替があってもワークショップの効果が残るように、学年に複数クラスがある場合は全てのクラスで実施しています。

④ 担任の先生の協力が必要です。

ワークショップには先生の理解と協力が必要です。事前に打ち合わせを実施して、クラスの様子を教えてください。また、ワークショップの「おとなに相談する劇」で、先生役を演じてもらいます。

⑤ 打ち合わせの際、名簿をご準備ください。

ロールプレイで同じ名前を使わないように配慮するために、事前の打ち合わせでクラスの名簿を準備していただきます。いじめられる役や誘拐される役と同じ名前の子がクラスにいますと、後で問題が生じる可能性もありますし、こどもたちが集中できなくなる恐れがあるからです。

⑥ トークタイムについて。

ワークショップ終了後、こどもたちがCAPのメンバーと1人ずつお話をする時間と場所をとってもらいます。トークタイムでワークショップの復習やおとなに相談する練習を行うこともできます。

⑦ こどもワークショップの見学・参観はできません。

こどもたちの集中度を保つために、こどもワークショップに保護者が参加・参観することはできませんので、予めご了承ください。

⑧ こどもワークショップの料金は、1クラスあたり2万円＋消費税です。

お問い合わせ、お申し込みはおきなわCAPセンターへ

電話&FAX 098-862-1686

メール okicap1996@gmail.com